

マンガで知ろう

かがみ びら 鏡 開 き



かがみびら まつ うち ぜんこくてき ちほう こと す かがみもち わ た
 鏡開きは松の内（全国的には1/1～1/7、地方によって異なる）を過ぎた1/11に鏡餅を割って食べる
 ぎょうじ かがみさま やど かがみもち ひら こととしがみさま おく しょうがつ ひとくぎ
 行事です。神様が宿るとされる鏡餅を開くことで年神様をお送りし、お正月に一区切りをつけます。
 かがみさま やど もち た とし むひょうそくさい びょうき けんこう す
 神様が宿っていたお餅を食べることでその年を無病息災（病気をせず、健康であること）で過ごすこと
 ができる力を分けていただくとされています。

「とも」は日本での生活に役立つ情報や日本語を勉強するためのヒントなどをふりがな付き日本語と
 9言語（ベトナム語、中国語、フィリピン語、インドネシア語、タイ語、カンボジア語、ミャンマー語、
 モンゴル語、英語）で発行しています。日本語版はリーフレットでお届けし、外国語版はJITCO ホーム
 ページからスマートフォンなどでPDF版をご覧ください。ぜひご活用ください。

(<https://www.jitco.or.jp/ja/tomo/>)



「作文を書くことで、自分自身を見つめなおすことができました」

「第32回外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクール」

最優秀賞受賞 チャン トウイ アンさん

実習実施者：株式会社ツクイ 監理団体：協同組合企業交流センター



JITCO主催の日本語作文コンクールで最優秀賞を受賞したベトナム出身の技能実習生チャン トウイ アンさん。来日してから約1年半で、現在は東京都内の介護施設で実習中です。1月号では作文コンクールに応募したきっかけや作文に対する思い、日本語の勉強などについてお話を伺いました。

——作文のテーマはどのように決めましたか。また作文を書いていて大変だったことはどんなことでしょうか。



本社の方から「日本語で作文を書いてみませんか」と言われた時は、自信がなく一度は断りましたが、先輩達が書いた作文を読み、また本社の方と話をするうちに普段自分ではあまり気にしていなかったことが作文のテーマになることに気づきました。そして少しずつ何を書きたいかの形が見えてきて「挨拶」をテーマにした作文を書くことにしました。日本語でたくさんの文章を書くことは初めてだったのでとても高い壁でした。まずベトナム語でテーマに関係のある出来事や感じたことを書き出して全体の形を作ってから日本語に変えていきました。書くようになってからは1カ月以上かけて完成させました。

——日本語の勉強で大変だと感じることはどんなことでしょうか。また勉強しながら感じることを教えてください。

日本語で一番難しいと感じることは「発音」です。ベトナム語にはない発音や間違って覚えてしまった言葉を直すことに苦労します。また書く方では介護の専門用語で報告書を書くのが最初は大変でしたが、少しずつ慣れてきて今では早く書けるようになってきました。7月のJLPTのN2の合格に向けて日本語のレベルをもっと上げたいと思っています。会社の研修で日本人とグループワークで話すことや宿題をこなすなど毎日の積み重ねが大切だと感じています。

——仕事をする中で、やりがいを感じることはどんなことでしょうか。また嬉しかったエピソードを教えてください。

とても小さなことですがお年寄りに何かしてあげることが私の一番の幸せです。仕事は毎日忙しくとても大変ですが、お客様が私の名前を覚えて

くださった時にとても嬉しくやりがいを感じます。

——これから作文を書いてみようと思っている読者に向けてメッセージをお願いします。

作文を書くことは日本語の勉強になることはもちろんですが、私が「書いて良かった」と思ったのは、自分自身を見つめなおすことができたと感じたことです。日頃感じていることを深く考えられたことは私のこれからの仕事において、とても意味がある体験でした。作文を書くことはとても難しいチャレンジですが、完成したら新たな自分が見えてくると思います。せっかく日本に来たのですから自分の可能性を信じて、作文を書くことにチャレンジしてみてください。



JITCOでは、今後とも日本語作文コンクールの開催を計画して参ります。募集の詳細は、決まり次第、JITCOのホームページでお知らせする予定です。皆さまからの応募をお待ちしています。

「日本語作文コンクール優秀作品集2024」はJITCOのHPからご覧いただけます。

<https://www.jitco.or.jp/ja/service/competition.html>





紙幣(お札)にまつわる豆知識

日本では2024年7月、約20年ぶりに紙幣(お札)のデザインが新しくなり、より偽造しにくく、より見分けやすいものに生まれ変わりました。新しいお札の肖像(顔)には日本の近代化に貢献した3人が描かれています。ではどのようにしてお札に描かれる人物が決まるのでしょうか。法令による定めはありませんが、

- できる限り実在の人物で、業績があり知名度も高く親しみやすいなど、国民から尊敬され日本を代表するような人物であること
 - 偽造防止の点から、簡単に複製できず、かつ人の目を引く特徴のある顔であること
- などの理由で選ばれます。
新しいお札に変わりましたが、これ

までのお札も当面このまま使用できますので、「これまでのお札が使えなくなる」といった誤った情報や詐欺行為などには十分に注意しましょう。

普段はじっくり眺めることのないお札ですが、皆さんの手元に新しいお札が届いたらこの機会に表や裏をいろいろな角度からじっくりと観察してみませんか。

お札の3人について知ろう！



渋沢栄一(1840-1931)は“日本経済の父”と呼ばれ、明治・大正時代の実業家です。明治時代には大蔵省の役人として税金・貨幣・銀行などの制度作りに奮闘しました。役人を辞めた後は日本で最初に作られた「第一国立銀行」の他、500以上のさまざまな種類の会社の立ち上げにかかわりました。



津田梅子(1864-1929)は“女子教育の先駆者”と呼ばれ、明治・大正時代の女性教育家として知られています。女性の地位を高めるために自ら留学し、女子高等教育に力を注ぎました。



北里柴三郎(1853-1931)は“近代日本医学の父”と呼ばれ、当時人々から恐れられていた「破傷風」という病気の予防や治療方法の開発に貢献し、多くの人の命を救いました。

こくごのもり

日本語の言葉と漢字やその使い方を学べる教材です。楽しみながら答えを考えてみましょう。
(答えは次のページにあります。)

かたかなと漢字

円	ース
まい	ーモニカ
糸	ノレール

どちらもかたかな

ニホーム	ーヒー
ロン	ーフ
マラ	ー

ひらがなとかたかな

リコプター	び
ヤンプ	つぶ
ーター	っけん

こくごのもり

指導・元世田谷区立小学校教諭 高橋 伶子
イラスト・奈良恵

にている字
ちがうところをしっかりと書き分けましょう。



えがお いちまい
笑顔の一枚



地元の神社で毎年行われているお祭りに参加した実習生たち。法被に鉢巻姿で地元の方々と一緒に神輿担ぎも体験しました。日本の伝統文化に触れて、充実した一日になりましたね。

※2024年9月投稿 監理団体：TNK協同組合 実習実施者：株式会社兼藤

ご応募お待ちしております

受入機関などから JITCO ホームページにご投稿いただいた「技能実習 Days」から1枚を選んで掲載しています。「技能実習 Days」ページおよび応募要項はこちらをご覧ください。

(<https://www.jitco.or.jp/ja/days/>)



SNS はじめました

Facebook と X の JITCO 公式アカウントを新しく作りました。

Facebook では外国人材の皆さま向けに、X では外国人材を受け入れている皆さま向けにお役立ち情報を配信していきます。

Facebook は日本語も含めて 10言語で配信します。

ぜひフォローして“いいね”を押してください。



ひらがなも、かたかなも、もとは漢字です。ひらがなは漢字の全体をくずし、かたかなは漢字の一部を取り出して作りました。まちがいが多いのが、「シ」と「ツ」です。シは「之」、ツは「川」が元の字です。点の並び方の違いは、「シはたて、ツは横」と覚えろといひですね。



とも

2025年1月 冬季号

2025年1月1日発行

発行

公益財団法人 国際人材協力機構 (JITCO)

総務部広報室

〒108-0023

東京都港区芝浦2-11-5 五十嵐ビルディング

03-4306-1166 (ダイヤルイン)

電話

JITCO ホームページ

Facebook

X

<https://www.jitco.or.jp/>

[jitco.official](https://www.jitco.or.jp/jitco.official)

@jitco_official